

Hondaは2010年に「お客様の喜びを最大化する商品を早く安く、低炭素で実現する」という2020年ビジョンを掲げました。そのビジョンに基づいて「Hondaらしいユニークな発想で、人々の暮らしを便利で楽しいものにした」という技術者の思いを込め、新たなFUN市場の創造を目指して開発をスタートさせました。

開発チームは、まず原点に立ち返って、先進国のモーターサイクルの使用状況、ユーザー要望などの情報を調査することになりました。そこから、「いたずらに最高速などの数値性能にこだわることなく、日常生活で扱い易く、街中の移動も郊外のツーリングも快適に楽しみたい」という多面的なユーザー像が見えてきました。

そしてそのようなニーズに、Honda独自のコンセプトに基づき、オリジナリティあふれる先進デザインで応えたのが、HondaのFUNバイクの世界に新たに加わるCTXシリーズです。

■CTXシリーズコンセプト

CTXシリーズは、Hondaらしい独自のコンセプトとして「快適技術の体感」(Comfort Technology Experience)を提唱します。

「快適技術の体感」とは、Hondaの「環境」「安全」「FUN」の3つの基本技術を土台にし、スタイリングデザインは「力強い水平基調」でフロントマッシュデザインとし、「Hondaの追求する使い勝手」(Comfort)と、「Hondaの目指したドライバビリティ」(Feel)の3つの要素を高い次元で融合させることで、より価値のある物を実現します。



「Hondaの追求する使い勝手」(Comfort)とは

- ・操りやすく低重心
- ・静粛で安定感のある高速走行
- ・ストレスを感じさせない連続走行
- ・疲れにくい低振動
- ・高い車両安定感
- ・快適なコーナーリング

「Hondaの目指したドライバビリティ」(Feel)とは

- ・滑らかな、発進・停止
- ・素早く適切な出力反応
- ・デュアル・クラッチ・トランスミッション(DCT)による
継ぎ目の無い変速による適切な加減速